

主体的・  
対話的で  
深い学び

授業実践

# 英語

「総合的な探究の時間」と連携し、

課題解決型学習の成果を英語で発信

神奈川県立川和高校 福田理奈

## 8:55 開会式



本時は、学年発表会を体育館で行った。発表者は、前時に行った各クラスでの発表会で選出された8チーム。福田先生が、開会の挨拶と、連携企業から招いた審査員の紹介を英語で行い、プレゼンテーションの評価方法を説明。「Are you excited?」の問いかけに、生徒からは歓声が上がった。

### 本時の概要

【対象／教科／科目】2年生／英語／コミュニケーション英語Ⅱ 【分野・単元】Lessons Designed to Change the World (全17時間のうちの16・17時間目。p.49に単元の指導計画を掲載)  
 【育成を目指す資質・能力】判断力、主体性、協働性  
 【学習内容】貧困層の支援がテーマの英語の単元を踏まえて、「総合的な探究の時間」で、貧困層向けの製品・サービスの企画・提案に取り組んだ。そして、英語の授業では、その提案を英語でスライドにまとめ、前時に各クラスで発表会を、本時に各クラスの代表チームによる学年発表会を行った。

主 主体的な学び  
対 対話的な学び  
深 深い学び

## 10:15 投票・結果発表



全チームの発表が終わると、生徒は自分のスマートフォンを使って、オンラインのアンケートフォームから、最もよいと思ったビジネスプランを発表したチームに投票。集計の結果、雇用率の低いコートジボワールへの保育園の設置を提案した2年6組のチームが優勝した。

**ふくだ・りな** 教職歴10年。同校に赴任して3年目。進路支援グループ。外国語科(英語)。同校赴任を機に、英語の授業で課題解決型学習を実施。

### 学校概要

◎校訓は、「誠実」「勤勉」「質朴」。学校のミッションに、「多様な分野でリーダーシップを発揮し、堅実に社会に貢献できる人材の育成をめざし、健やかな体、たくましい精神力及び思いやりを育む教育に取り組む」ことを掲げる。2021年度から、神奈川県教育委員会「学力向上進学重点校」の指定校。

◎設立 1962(昭和37)年

◎形態 全日制／普通科／共学

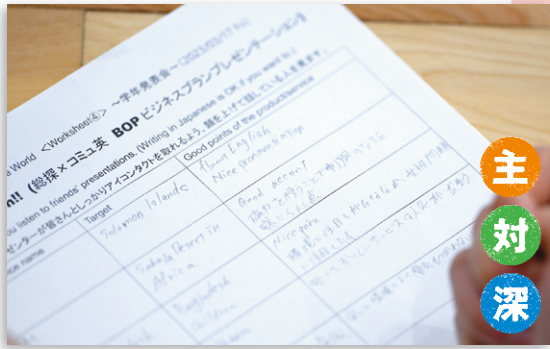
◎生徒数 1学年約320人

◎2022年度入試合格実績(現役のみ) 国公立大は、北海道大、東北大、東京工業大、東京大、一橋大、横浜国立大、名古屋大、京都大、大阪大、横浜市立大などに85人が合格。私立大は、青山学院大、慶應義塾大、上智大、中央大、東京理科大、明治大、立教大、早稲田大などに延べ1,115人が合格。

※プロフィールは、2023年3月時点のものです。



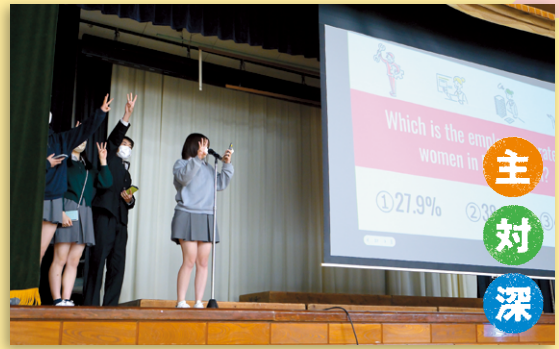
## 9:42 プレゼンテーションを評価

主  
対  
深

聴衆の生徒は、発表者とアイコンタクトを取れるよう、顔を上げて聴いていた。そして、各チームの発表が終わる度に、提案内容の中でよいと思った点や気になった点などを、ワークシートに書き留めた。日本語での記入も可としたが、多くの生徒が英語で記入していた。

## 本時のキー課題

## 9:00 英語でプレゼンテーション

主  
対  
深

1チーム8分間で、英語でビジネスプランのプレゼンテーションを行った。プレゼン項目は、対象の国・地域の課題、事業計画、セールスポイントなど。最初に数字を挙げ、「何の数字が分かりますか」と聴衆に問いかけたり、身振り手振りを交えたりと、それぞれが聴衆を引きつける工夫をしていた。

## 10:40 単元の振り返り

主  
対  
深

「総合的な探究の時間」で取り組んだ探究学習と、英語の授業で取り組んだ発表活動を振り返った。「世界には多くの低所得層がいて、多様な課題があることが分かった」「英語のプレゼンスキルが向上した」などと、探究学習と英語の双方について、自身の成長や気づきをワークシートに記入した。

## 10:25 審査員の講評

主  
対

審査員を務めた日本政策金融公庫の社員が講評を行った。英語の発音や論理的な説明に加え、多くのチームが、コストを抑え、販売量を増やす現実的なプランを提案していた点を高く評価した。そして、今回関心を持った課題をさらに深く掘り下げてほしいと、生徒にエールを送った。

## ●私が目指す授業

自分の意見を持てるように、  
実社会の課題に取り組む

私は、「学校で学ぶ意味は何か」をずっと考えてきました。特に、コロナ禍による2020年度の臨時休業時は、オンライン授業や課題の配信を行う中で、これで生徒が学べるのならば、学校は必要ないのではないかと思うこともありました。休業明けに、授業で生徒が英語を楽しそうに話す姿を見て、学校で学ぶ意味を感じられましたが、それでも何か足りない気がしていました。

本校の生徒は真面目で、学力が高く、コミュニケーション力も備えています。ただ一方で、自分の意見を言えない生徒が少なくありませんでした。「あなたはどうか考えますか」といった問いかけに、口を閉ざしてしまふ生徒もいます。

これからの時代は、新しい価値を生み出す創造性や社会を切り開く貪欲さが求められます。そうした創造性や貪欲さは、自分の意見を相手に伝えたいという意志の強さによって形成されるのではないかと思います。そこで考えたのが、英語の授

業で課題解決型学習を行うことで、実社会にある問題を提示し、その解決策を考え、発信する場があれば、生徒は当事者意識を高め、自分の意見を持つようになるのではないかと。そうした学びを提供することこそが、教師の役割だと考えたのです。

●私の発問・課題設定の観点

単元の趣旨を踏まえた課題を探究し、英語で表現

私は、「コミュニケーション英語Ⅱ」の各単元で、課題解決型学習を単元のゴールに設定しています。授業ではまず、単元の素材文の音読や読解、新出単語や文法の確認、サマリーの作成、ペアでの対話活動などを行います。その上で、私が単元の趣旨を踏まえて提示した課題について、生徒は自分の関心に応じて調べ、まとめた提案を英語で発表します。

例えば、自然と人間の共生がテーマの単元では、絶滅危惧種の動物をかたどったお菓子を企画してメーカーに提案することを課題にしました。どのチームも、その動物を選んだ理由や、動物の保護に必要なことをお菓子の企画に込めていました。年度末には、1年間の集大成とし

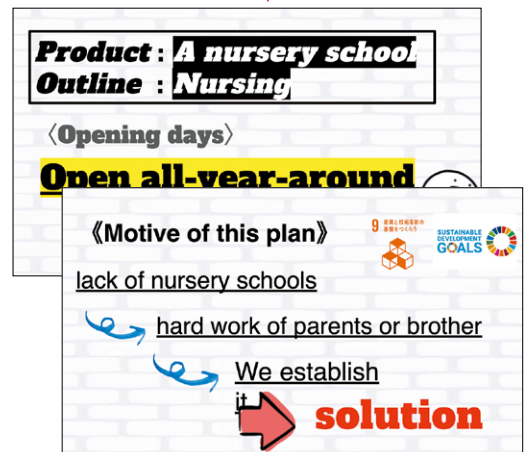
て、外部機関と連携し、その担当者が審査員等として参加する学年発表会を行っています。20年度は、株式会社ユーグレナ創業者の取り組みがテーマの単元を基に、ミドリムシを活用した新商品の考案を課題としました。生徒は、栄養問題を抱える途上国向けに、その国の現状や食文化にあった商品を企画し、発表会では、実際に途上国の栄養問題解決に取り組むユーグレナ社に提案しました。

21年度は、食の多様性に対応した弁当の企画を課題とし、オリジン東秀株式会社の開発担当者を審査員に招いた発表会を行いました。一連の取り組みはケーブルテレビに取り上げられ、同社が試作したベストチームの弁当が番組内で披露されました。

総合探究と連携し、英語の授業は英語のプレゼンスキル向上に特化

本時に行ったのは、貧困層の支援がテーマの単元を基に企画した「BOP（\*1）ビジネスプランプロジェクト」の発表会でした。生徒は、「世界のデザイナーの95%が、世界人口の10%の富裕層のための製品をデザインしている。残り90%の貧困層の生活をよくする製品のデザインが必

☑ 生徒が作成した発表スライド



優勝チームは、コートジボワールで展開する「年中無休の保育園」を提案した。スライドには、キーワードが分かりやすく配置されている。メンバーは、「プレゼンの準備では、聴衆を引きつける表現や演出を意識してリハーサルを重ねました。互いのスピーチを聞き合い、発音は正しいか、スピードは速すぎないか、意見を出し合いながらスキルを高めていきました」と語った。ほかのチームからは、「設置容易な浄水濾過装置（ソロモン諸島）」「読み書き計算の基礎が学べる教科書（マダガスカル）」「地元産カカオを利用した料理教室（ガーナ）」などが提案された。

\*学校資料をそのまま掲載。

要」といった素材文のメッセージを踏まえて、自分たちなら、どの地域に対し、どんな製品・サービスを提供することで問題解決を図るのか、ビジネスとして成り立つプランを実際に考える課題に取り組み、その成果を発表しました。

生徒の本気度を高めようと、株式会社日本政策金融公庫が無料で行う出張授業に申し込み、同社の社員を講師に迎えたビジネスプランの作成の授業を行いました。さらに、講師を本時の発表会に招き、講評してもらったことにしました（\*2）。

そして、「総合的な探究の時間」（以下、総合探究）と連携して単元計画

を練りました。総合探究では、SDGsの学習やビジネスプランの作成、日本語でのプレゼンテーションを行い、英語の授業では、日本語で行ったプレゼンテーションの英語版を作成。英語による発表ならではの取り方やアイコンタクト、ジェスチャーなど、聞き手に伝えるためのスキルの練習を重ねました。

総合探究の授業では、提案の内容は優れているのに表現力が伴わず、うまく伝えることができている生徒にもどかしさを感じる場面もありました。そこで、英語の授業では、聞き手の心に響く伝え方として、「グッド・スタート」「グッド・スク

\*1 Base of the Economic Pyramidの略称で、低所得層のこと。 \*2 株式会社日本政策金融公庫は、高校生のビジネスプランを競う全国規模の大会「高校生ビジネスプラン・グランプリ」を開催しており、大会に参加する生徒への支援として、社員が学校を訪問してビジネスプランの作成をサポートする出張授業を無料で実施している。詳しくは、同社のウェブサイト（<https://www.jfc.go.jp/n/grandprix/index.html>）をご覧ください。

リプト」「グッド・スライド」の3Sが重要であると伝えました。すると、どのチームも、フリーズをシンプルにし、発表のスライドでは写真やイラストを多用するなど、それぞれに工夫を凝らしていました(図)。

グッド・スタートについては、優勝チームの演出が見事でした。プレゼンの序盤に聴衆に問いかけたのですが、生徒が反応する前に、会場にいた担任が突然発表者に駆け寄り、大声で答えました。教師を巻き込んだサプライズ演出に聴衆は大いに盛り上がり、その後のプレゼンをより集中して聞いていました。

● **成果と展望**  
**普段から積極的に発言する生徒が増え、英語力も向上**

自分の意見を積極的に発言する生徒も増えており、2年生が受検した英語4技能検定「GTEC」のスピー

キングの観点別採点を見ても、多くの生徒が、意見や理由を聞き手に伝えることができいていました。

スキルの面でも、発表時の声の大きさや話すスピードが改善し、当初は半分以下だったアイコンタクトも、8割以上の生徒ができるようになりました。重要な発言の前には一呼吸のためをつくるなど、間を取る工夫も多くの生徒が行っています。

課題解決型学習は、課題設定や資料作成など、準備に時間がかかり、発表時間を確保する必要もあります。英語力向上に必要な様々な活動をバランスよく行いながら、生徒が社会とのつながりや社会への貢献を実感できる授業のあり方を、これからも模索していきたいと思えます。

VIEWnext ONLINEでは、本時の授業の様子を**ダイジェスト動画**で紹介!



VIEWnext ONLINE 検索

単元の指導計画

【教科・科目】英語・コミュニケーション英語Ⅱ 【分野・単元】Lesson 5・Designed to Change the World 【テーマ・作品】世界を変えるデザインを考える 【設定時数】全17時間(本時は16・17時間目) 【単元目標】海外の貧困層を対象としたビジネスプランを考えて、プレゼンテーションする

時数	学習内容	身につけさせたい 資質・能力	授業の流れ	教師の配慮	評価方法
1	導入、Part 1の読解、表現活動	単元のゴールの課題を理解しようと、意欲を持ってリーディング・リスニングに挑戦することができる 【知識、技能】	①ウォームアップ、ベアトーク ② Part 1を読解する ③新出単語の確認 ④ TED(プレゼンテーション動画)を視聴し、Paul Polakのメッセージを読み取る ⑤単元のゴールの課題を提示	【主体的な学び】本文読解と動画の視聴を組み合わせ、生徒の興味・関心を喚起する	活動の取り組み状況
2 3	Part 2の読解、表現活動	主体的に本文を読み、理解した内容を基に表現することができる 【表現力、主体性】	①ウォームアップ、ベアトーク ②新出単語の確認 ③ Part 2のリスニング・リーディングを行い、サマリーノートを作成する ④関連する英文を読解する ⑤ミニ・課題：Qドラマ(本文に登場する製品)の新しいデザインを提案する	【深い学び】本文に登場するQドラマについて、自分でデザインを考えることで、課題意識を高める	
14 15	クラス内プレゼンテーション	発表者：効果的なプレゼンテーションをすることができる 参加者：アクティブ・リスニングをすることができる 【判断力、主体性、協働性】	①各チーム7~8分間でプレゼンテーションを行う ②生徒の投票によってベストチームを選出し、表彰	【主体的な学び】発表者は伝えようという思いを込めて発表し、聞く側の生徒は発表しやすい雰囲気づくりに努めるよう指導する	パフォーマンステスト
16 17	クラス代表プレゼンテーション	発表者：効果的なプレゼンテーションをすることができる 参加者：アクティブ・リスニングをすることができる 【判断力、主体性、協働性】	①各クラスの代表の8チームがプレゼンテーションを行う ②企業担当者の講評 ③投票、結果発表 ④単元の振り返り	【深い学び】単元での学びを振り返り、得た知識をつなげながら、発表したり、発表を聞いたりするよう指導する	活動の取り組み状況

※福田先生作成の単元の指導計画を基に編集部で作成。単元の指導計画の全17時間分は、ウェブサイト『VIEW next ONLINE』(https://view-next.benesse.jp/)からダウンロードできます。「TOP→学校教育情報誌『VIEW next』→高校版バックナンバー」をご覧ください。